

NTP サーバの設定について

NTP とは

NTP (Network Time Protocol) は、時刻同期サービスとも呼ばれ、ネットワークを通じて機器の時刻を合わせる仕組み (プロトコル) です。

パソコンの時刻が正確でない場合、例えばメールの送受信で表示される送信時刻が正確でなくなり、いつ送られたメールなのかが不明確になってしまいます。

また、ネットワーク機器の時刻が正確でない場合、データの保存時刻や記録されたログの時刻が不正確となり、データのやり取りやログ・記録の追跡が難しくなってしまいます。

そのため、パソコンやネットワーク機器では、定期的に NTP サーバに接続して、時刻を正確にする事が必要となります。

公開されている NTP サーバの代表例

一般に利用して利用が可能な「公開 NTP サーバ」の例をご紹介します。

インターネットマルチフィード (ntp.jst.mfeed.ad.jp)

詳細ページ : <https://www.mfeed.ad.jp/ntp/overview.html>

独立行政法人情報通信研究機構 (ntp.nict.jp)

詳細ページ : <http://jjy.nict.go.jp/tsp/PubNtp/>

一般にネットワーク的に近い NTP サーバを利用することが推奨されています。そのため、利用しているプロバイダより NTP サーバが提供されている場合は、プロバイダの NTP サーバを利用する方法もあります。

以前では、古くより公開 NTP サーバを提供している福岡大学の NTP サーバを設定することがありましたが、後述の理由により、他の NTP サーバへの設定変更が推奨されています。

福岡大学の NTP サービス

福岡大学では、1993 年 10 月より公開 NTP サービスを提供しておられますが、2005 年頃からアクセス過多によるトラブルが発生したり、大学のネットワークを圧迫している状況が続いていることから、NTP サーバの停止が予告されているため、設定変更が推奨されています。

2019 年現在では、情報通信研究機構（NICT）やインターネットマルチフィード（mfeed）等、一般に利用出来る NTP サーバの選択肢がある状況です。

福岡大学の NTP サーバに接続する設定になっているパソコンやネットワーク機器は、他の NTP サーバへ変更してください。

福岡大学 情報基盤センター 公開 NTP サービスについてのページ

https://www.ipc.fukuoka-u.ac.jp/service/ntp/public_ntp/

福岡大学の NTP サービスへの通信検知

NetStable では、福岡大学の NTP サービスを利用しようとする通信を検知するシグネチャをリリースしています。

- 3000216 Fukuoka Univ. NTP Access
福岡大学の NTP サーバ(時刻同期サーバ)へ接続を行おうとしたことを検知するシグネチャです。

送信元 IP アドレスの端末やネットワーク機器において、福岡大学の公開 NTP サーバ(133.100.9.2)を利用する設定になっています。

福岡大学の公開 NTP サーバは将来的にサービスを停止することが案内されており、かつ福岡大学のトラフィックを圧迫している事から、他の NTP サーバへの設定変更が推奨されています。

送信元 IP アドレスの端末やネットワーク機器の時刻同期設定(NTP サーバ設定)を変更し、他の NTP サーバを参照するように設定を行ってください。

まとめ

- パソコンやネットワーク機器の時刻合わせに「NTP」が利用される
- 一般に利用出来る「公開 NTP サーバ」がある
- 福岡大学の NTP サービスは停止が予告されているため、設定変更が必要